

最低賃金行政に関する

「山形労働局要請行動」

—最賃の大幅引き上げを求める署名32,281筆を提出—

6月28日、2017年度山形地方最低賃金審議会の審議開始を前に、山形県最低賃金の大幅引き上げを求め、山形労働局に要請行動を行いました。岡田連合山形会長は、「2017年度最低賃金行政に関する要請書」および32,281筆の「最低賃金の大幅引き上げを求める署名」を庭山山形労働局長に提出し、その後、労働局との意見交換を行いました。

最低賃金額が大都市と地方の格差が拡大していることから、労働力の流出が進むなどとして、①山形県の地域別最低賃金を早期に1,000円へ引き上げること。②基幹的労働者にふさわしい特定（産別）最低賃金の水準を確保すること。③使用者側に対し、最低賃金法の遵守を徹底すること。④最低賃金法違反を取り締まるための監督体制を強化すること。の4点について要請しました。

県内の最低賃金は、昨年度21円引き上げにより時給717円になりましたが、全国平均823円とは大きな差があり、労働力の流出や地方創生の観点からも大幅な引き上げが必要です。生活できる最低賃金の確保に向けて、大幅引き上げを求めていきましょう！

出席者は、連合山形から岡田新一会長をはじめ、水戸吉一副会長、角谷俊一副会長、舘内悟副事務局長、小川修平副事務局長、佐藤茂雄最賃対策委員。山形労働局からは、庭山山形労働局長、鈴木労働基準部長、櫻井賃金室長、細貝監督課長、瀧川賃金指導官、猪股雇用環境・均等室長補佐。



庭山山形労働局長に要請書と署名用紙を手交する岡田連合山形会長

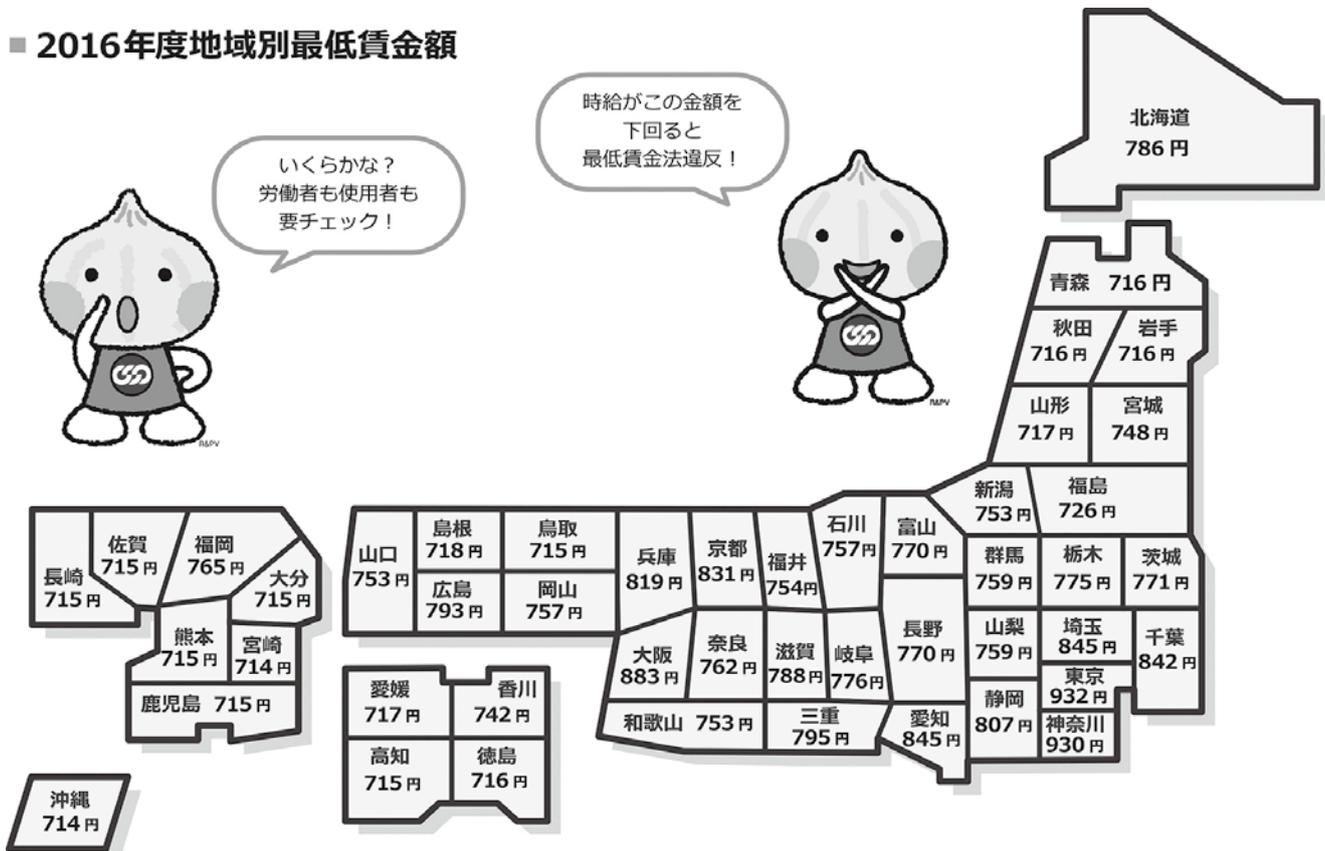
最低賃金の大幅引き上げを！ 街宣&署名活動を行いました

7月6日、今年度の山形県最低賃金を決める山形地方最低賃金審議会が山形労働局で開かれ、連合山形の組合員が傍聴し見守る中、山形労働局長より審議会に対して最低賃金の改正決定についての諮問が行なわれ、審議が開始されました。審議会には、連合山形から労働者側委員として出席しており、大幅引き上げを求めて意見を述べていきます。

審議会終了後、山形労働局がある山形市ヤマコービル前にて街頭宣伝行動を行い、最低賃金の大幅引き上げを求める演説と署名活動を行いました。岡田連合山形会長をはじめ角谷連合山形最低賃金対策委員長、小口副会長、五十嵐山形地協議長、次期衆院選候補予定者の荒井寛さん、渋江山形市議が次々と「最賃を大幅に引き上げよう」と訴えました。多くの市民の皆さんが、「今の最低賃金では暮らせない」と署名にご協力いただきました。



■ 2016年度地域別最低賃金額



連合山形「2017山形県男女共生集会」を開催

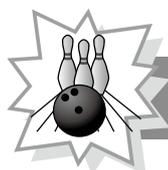
6月27日、連合山形男女平等行動委員会主催による「2017山形県男女共生集会」が山形市大手門パルズを会場に開催され、101人（男性63人・女性38人）が参加しました。今年の集会では、妻が茨城県に単身赴任されているため、家事と育児を行っている長井市・洞松寺住職の小野卓也さんより、「今どきのワーク・ライフ・バランスとは」というテーマでワークショップ形式での講演となりました。

小野住職は、「男女平等などの考え方に関して『こうあるべきだ』とか正しい答えは無く、それぞれが多様な考え方で、男女という枠にとらわれず理解していくことが必要である。人に何かを頼む時、『やれ』と言われるとやりたくなくなる。理由をつけて頼むと動きやすくなる。少し気になることがあったとしても『大目に見る』という余裕が必要」など話されました。

参加者各人が作成した「あなたの家庭のロードマップ」を家族で共有化し、五年後に達成できたかをチェックしてみようなど、講演の随所にボードゲームの要素も取り入れて参加者同士のコミュニケーションが図られました。終始、和やかなムードの中、皆さんの笑顔が印象的でした。



講師の小野卓也さん



第7回連合山形会長杯「ボウリング大会&ピアガーデン交流会」を開催

7月22日(土)、第7回「連合山形会長杯 ボウリング大会&ピアガーデン交流会」を開催し、会場のヤマコーボウルには、県内各地より56人の組合員が参加しました。

構成組織ごとによるチーム編成で、ストライクやスペアが出ると歓声が響きわたり、ハイタッチをする姿もあり、交流を深めることができました。

ボウリング終了後、ヤマコーホールに会場を移し、表彰式とピアガーデン交流会。「団体の部」での表彰と「レディースの部」の表彰の他、「個人飛び賞」が発表されると、各チームから歓声があがり、参加者は大いに盛り上がりを見せていました。

今年度の優勝チームは、自治労新庄市職労チームでした。



優勝した新庄市職労チームの皆さん

連合「平和行動in沖縄2017」

連合は平和運動として、核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動、北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動などに取り組んでいます。そのため、連合は6月～9月を平和行動月間として、沖縄、広島、長崎、根室での平和行動を基本に、取り組みを進めています。

平和行動に参加して

連合山形女性委員会委員長 藤本恵美子（UAゼンセン）

率直に言って、私は全然わかっていなかった。

東北に生まれ育ちながら、現在100歳近い祖母から戦争当時の話を聞いて育ったという自覚はあったものだったが、そういうレベルのこととは全く違うものだった。

2日目に参加した「ピースフィールドワーク」では、3つのコースに分かれ県内の基地や戦跡をバスでめぐり、連合沖縄の青年たちが「ピースガイド」として沖縄を伝えるための準備をしてくれていた。

そこで訪れた辺野古では、キャンプシュワブでの座り込み運動、海岸でカヌーに乗っての海上座り込み運動が展開されている。目の前の人々の基地問題への根強い怒り、目の前に広がる海の美しさ、そして淡々と進んでいる埋め立て工事の様子に、途方もない解決の困難さを感じた。その時ピースガイドの青年たちが言った言葉が強く響いた。「誰も皆さんに基地をもらってくださいと言っているわけじゃないんです。こうやって訴えて運動を起こしていても、辺野古の工事は進んでいる。僕らの声って誰が聞いてくれるのだろう…」

平和行動in沖縄を通して、沖縄の想いを、愛をもって伝えてもらった。どこに行っても、誰を見ても、沖縄への愛が伝わってきた。沖縄の問題は沖縄だけの問題ではない。私たちは直面していないわけではない。まずそれをしっかり感じることから始めよう。そしてその愛をリレーしていこう。

連合山形女性委員会副委員長 大竹 恵里（高教組）

6月23日の沖縄 慰霊の日に合わせて行われた『平和行動 in 沖縄 2017』に連合山形女性委員会の代表として、委員長と二人で参加してきました。沖縄は梅雨が明け、とても暑く体力的には大変でしたが、多くのことを学ぶことができました。

集会では、まったく聞いたこともない伊江島の悲劇について教えてもらいました。現在の基地の問題だけでなく、戦争中もひめゆり学徒を初めてして、日本軍から集団死に追いやられたり、兵士はもちろん民間人の被害者が多くいることなどなど、知っているつもりでしたが、私がかつての沖縄は、ほんの一部だったのだと思い知らされました。二日目は、フィールドワークでした。JP労組の5人の若いイケメンがピースガイドでした。バスで基地を中心とした沖縄中部地域を回りました。フィールドワークで一番見たかったのは辺野古でした。テレビやネットで見ている辺野古は、ゲート前の座り込みくらいでしたが、海側からも見ることができました。辺野古の海は、世界自然遺産の中でも最も小さい面積の中に、国際保護獣ジュゴンをはじめとした多種多様な生物いる大変珍しい海であることも教えてもらいました。ちょうどカヌーや船での抗議行動が行われていて、その様子を見ていると無力を感じ、涙が出て仕方なかったです。浜にいる人たちと一緒に声も上げてきました。大きな権力の前に、蟻のような小さな抵抗勢力ですが、諦めることなくしたたかにそしてしなやかに活動していました。

ピースガイドは最後に、「基地をもらってくれたとか、同情してくれただとかではなく、沖縄の問題ではなく、日本の問題として考えてほしい」と挨拶をしてくれました。他人ごとにならないように、周りの人たちと沖縄のことを考え続けていかなければと思いました。貴重な体験の機会をいただき感謝します。



“「舟山やすえ国政報告会」を開催”

7月13日、昨年夏の参院選で自民党候補に圧勝し当選した舟山やすえ参議院議員の連合山形主催による国政報告会が大手門パルズで行われ、約200人の組合員の皆さんが集まり、国会情勢やこの1年間の活動についての報告に耳を傾けていました。舟山議員は無所属ですが民進党新緑風会の会派に所属し、国会での鋭い切り口で質問する姿はテレビでおなじみとなりました。



今国会を振り返り、TPPの問題をはじめ、共謀罪の強行採決、森友・加計問題など、疑惑だらけの国会だったと安倍政権を批判しました。今後、しっかり真相究明を続け、安倍一強政治に対峙していくと訴えられました。また、働き方改革にふれ、連合と民進党が意見のすり合わせをし、残業代ゼロ法案に対して長時間労働の例外を作らないようにしていかなければならないとしました。

第48回衆議院選挙 連合山形推薦候補者

年内にも解散総選挙が行われるのではないかとされていますが、連合山形は、第2回執行委員会(2017年1月4日)で次期衆議院選挙の推薦候補者を決定しています。連合山形の総力を挙げて、想定される解散総選挙での推薦候補の勝利で、労働者の生活・雇用改善「クラシノソコアゲ」を実現しましょう！



1 区

荒井 寛さん(新)

☆民進党第1区総支部長
☆前(株)荒正代表取締役



2 区

近藤 洋介さん(現5期)

☆03年衆議院議員選挙初当選
☆民進党県連会長



3 区

阿部 寿一さん(元)

☆12年衆議院選挙初当選
☆元酒田市長

ゆるキャラグランプリ 2017

応援してユニ!

投票期間 **8/10(火) 10:00** ▶ **11/10(金) 18:00**

連合公式キャラクター

ユニオニオン

初立候補!

1日1回

スマホ・携帯・パソコンから

毎日投票

お願いします!

▶投票はこちらから

初回のみID登録が必要です

ゆるキャラグランプリ ユニオニオン 検索

もっとおトクに、ろうきんを利用してみませんか？

他行からの乗り換えキャンペーン！



学習会やセミナーの開催はろうきんまで

フリーローンメンバーズは
金利年 **3.20%**

《固定5年、保証料不要》

低金利に
まとめて
借換え

内容

マイプランやフリーローンメンバーズを利用して他行カードローン等から借換えを行った方先着2,000名様に500円分のクオカードをプレゼント！

【実施期間】 2018年3月31日(土)まで

※他金融機関からの借換えのお客様が対象になります。
※ろうきんでお借入れいただいているローンの借換えは対象となりません。
※詳しくはろうきん職員にお尋ねください。



©ROKIN

2017年7月1日現在

東北労働金庫山形県本部単産推進会議・山形県本部推進委員会

ZENROSAI NEWS
0617A005



カーライフを応援する、頼れる補償
マイカー共済

自動車総合補償共済

頼れる補償をお望みの方も、
安全運転が長い方も、
マイカー共済です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。



保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済山形県本部 〒990-0827 山形市城南町1-18-22
(山形県勤労者共済生活協同組合) TEL 023-646-4666 (代)

中央支所は土曜日も営業！ご来店お待ちしております♪



営業時間

平日 9:00~17:00
(土・日・祝・年末年始を除く)

※土曜日 9:00~15:00

中央支所

〒990-0827 山形市城南町1-18-22
TEL.023-646-4666

酒田支所

〒998-0851 酒田市東大町2-6-8
TEL.0234-23-3160

米沢支所

〒992-0012 米沢市金池3-2-7
TEL.0238-22-6065

新庄支所

〒996-0084 新庄市大手町5-6
TEL.0233-23-5995

鶴岡支所

〒997-0033 鶴岡市泉町8-73
TEL.0235-23-6100

長井支所

〒993-0006 長井市あら町5-36
TEL.0238-83-6035